

我が家の防災・減災への備え ～災害・避難カード～

災害対策の一つに、自分自身や家族の避難、緊急連絡に関する**各種情報を集約して、コンパクトな形で保管したり、携行できる大きさにした防災カード、災害・避難カード**等があります。このカードを作成する過程で、**各種災害への対応行動や避難行動を予習**することができます。ぜひ作成してみてください。

カードの様式と書き方の一例

裏

メモ欄 (留意事項など)

- ・〇〇さんの持病の薬を一箱に持っていく
- ・車で避難する
- ・病院 〇〇〇〇-△△-◆◆◆◆

避難時にしなくてはいけないことは、忘れないようにメモしましょう。

「避難の合図」を考えると、「広報さぬき6月号、7月号」の防災記事を参考にしてください!

避難場所はそれぞれの災害の特徴を踏まえ、安全な場所にしましょう!

表

「災害・避難カード」

名前 さぬき 太郎
住所 さぬき市 〇〇 〇〇番地〇

性別 男 血液型 O(+) 家族 3 人
緊急連絡先 さぬき花子(妻) 000-0000-0000

あくまで一例です。この他にも、自分で知っておかなければならないことや、他の人に知っておいてほしいことを記入しましょう。

中

災害	避難の合図	避難行動
土砂災害	避難準備・高齢者等避難開始	【日中】 ・長男宅 【夜間】 ・自宅2階
水害	〇〇さんから連絡が来たら	【日中】 ・長男宅 【夜間】 ・自宅2階

だれを気にかける? (近所の高齢者など)

注意を促す情報や避難に関する情報が発令されたら…だれに連絡する?

誰に? 連絡先は?

〇〇さん(足が不自由) 080-0000-0000
〇〇さん(独り暮らし) 090-0000-0000

隣近所、自治会などで助けが必要な方の名前を記しておきましょう。みんなで話し合いましょう。

出典:内閣府防災情報のページ「災害・避難カード(名刺タイプ)」に加筆

【問】危機管理課 ☎(087)894-1115

指定緊急避難場所を変更します

台風接近時等に開設する市の指定緊急避難場所を一部変更しました。避難される時には、ご注意ください。

変更前:津田公民館

変更後:津田保健センター
(2階)

自宅等が災害時に危険な場所かどうかをハザードマップなどで事前に確認しておき、危険な状況になる前に早めに避難しましょう。

【問】危機管理課 ☎(087)894-1115

「自らの命は自らで守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう

知っておくべき5つのポイント

- 安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、市の指定緊急避難場所、安全な場所にある親戚・知人宅も含まれます。
- マスク・消毒液・体温計は自ら携行しましょう。
- マイタイムライン(※)や避難行動判定フローを活用し、危険な状況になる前に安全な場所へ移動してください。※広報さぬき6月号参照
- 豪雨時の屋外の移動は徒歩も車も危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しない場所で周囲の状況等を十分確認してください。

